

2024年度

とちぎ 学生防災サークル 支援事業



【県民の日記念イベント（2024.6.15）】



栃木県危機管理防災局消防防災課・(公財)栃木県消防協会
2025年3月発行

とちぎ学生防災サークル支援事業とは…

- 県では、消防・防災に関する学生サークルの活動が充実したものとなるよう、関係機関との連絡調整や資機材の提供などの支援を実施しています。
- 地域防災に関心を持つ若者が増えることによって、**地域防災の要である消防団や自主防災組織などの充実強化**を目指しています。



【認定証交付式 (2025.2.25)
佐野日本大学短期大学 SLL】

とちぎ学生防災サークル **DAME-iT**とは…

- 県内大学等において、消防・防災に関する活動を継続的に実施している学生サークルが集まって、活動内容に係る情報交換や合同での活動の実施など、サークル活動が、より一層充実するよう取り組んでいます。
- 愛称 **DAME-iT** は、「Disaster Action MEmber-in Tochigi」の略ですが、決めたことは実行する！という強い意志の表れでもあります。



<各サークル代表者>

※白鷗大学の「め組白鷗」は活動休止中



帝京大学
石川 代表



作新学院大学
森谷 代表



国際医療福祉大学
末武 代表



宇都宮大学
加藤 代表



佐野日本大学短期大学
物江 代表



代表：石川 百香
発足：平成23(2011)年
部員数：77名

ERSUの目標は地域全体の防災意識向上です。今後は、楽しく面白く防災知識を学べるイベントを企画し、より多くの人々に活動を知ってもらいたいです。

～主な取組～

帝祭(学園祭)

- 11月2,3日に炊き出しを意識して豚汁を販売しました。多くの人に訪問していただき、2日間とも完売することが出来ました。



AED講習

- 8月25日に宇都宮市消防団女性部さんの協力でAED講習を実施しました。胸骨圧迫の重要性とAEDの役割を学ぶ貴重な体験となりました。

中央小学校防災訓練

- 11月24日に空き缶と牛乳パックを使ったご飯炊きの実演を実施しました。身近なものでご飯が炊けることを訓練の参加者に体験してもらいました。



作新学院大学 防災サークルtell



代表：森谷 皓生
発足：平成30(2018)年
部員数：9名

防災士資格取得に励み他の大学サークルと共に活動しながら防災知識を高めていきます。

～主な取組～

防災士養成講座

- 私たち防災サークルtellは運営の補助をさせていただきました。質疑応答の対応を積極的に行いました！



作新祭(学園祭)

- 11月9日に作新学院大学でこれまでの活動をまとめたパネルや防災グッズ、非常食等の展示を行いました。防災を身近に感じてもらい、災害の恐ろしさや防災の大切さなどを沢山の方々に知っていただきました。





代表：末武 麻依

発足：平成25(2013)年

部員数：22名

防災に関する知識を深めて、地域の方々に向けて伝える活動を行い、地域防災力の向上に努めています。今後は災害支援にも力を入れていきたいです。

～主な取組～

避難所体験&炊き出し練習

- 1月に避難所体験と題して、防災グッズ作成・非常食体験・炊き出し練習を行いました。炊き出しへは菜めし・さつま汁・フルーツポンチを調理しました。



風花祭(学園祭)

- 10月に開催された風花祭に新聞紙スリッパづくりと台風・雨に関する防災クイズを出展し、多くの方々に楽しんでいただきました。

福島、その先の環境ヘツア－2024

- 10月に「福島の環境再生×福島の食」を学ぶツアーに参加しました。多くの施設を見学し自分の目で見て学ぶ経験をする大切さを実感しました。





NEW

代表：物江 亜沙美

発足：令和6(2024)年

部員数：11名

SLLとは、このサークルで学ぶ防災の知識が、災害が起きた時の命綱になってほしいという意味を込めました。防災知識を学び広める活動として、防災イベントや地域の防災会への参加、防災料理づくりやHUGを行っています。

～主な取組～

サノタン版HUG

- 10月に校内でHUGを行いました。令和元年度東日本台風の経過を元に本学を避難所として想定して作られたHUGを体験し、避難者の身体状況や思いを尊重することの難しさを実感しました。



防災カレー作り

- 6月に校内で防災カレー作りを行いました。断水時を想定してタンクの水のみを使用し、調理しました。普段どのくらい水を使っているかを知る機会となったと同時に、水が使えなくなることの恐怖を感じました。

防災会訓練への参加

- 12月に新都市中央公園で行われた防災会訓練に参加しました。市の職員の方が、防災設備の実際の使い方などを説明して下さいました。様々な防災設備について学ぶとともに、住民の皆さんと意見交換を行うことができました。





代表：加藤 優喜
発足：平成23(2011)年
部員数：10名

東日本大震災の復興支援を目的として発足したサークルです。現在は、東日本大震災を風化させないための活動「ともしびプロジェクト」を皆さんと一緒に行っています。

～主な取組～

UPツアーア

- ・9月27日にサークルメンバー10名で横浜市防災センターを見学しました。消防体験や地震発生時のシミュレーションを通じて、メンバーの防災への意識を向上させました。



峰ヶ丘祭(学園祭)

- ・11月23,24日に峰ヶ丘祭で参加者の防災意識向上を目的とした脱出ゲームを企画・運営しました。参加者に楽しんでもらいながら、防災へ興味を持ってもらうきっかけづくりが出来ました。



ココロツナガル3.11

- ・3月11日に宇都宮大学でキャンドルアートを作成するイベントをともしびプロジェクトの皆さんと合同で開催し、震災の記録を伝える活動を行いました。



DAME-iT 全体としての活動

県民の日イベント参加(2024.6.15)

- ・防災クイズを出題する人探しゲームや防災グッズのワークショップを行いました。
- ・多くの人が訪れてくださり、楽しんで学んでもらうことができました。



埼玉県防災学習センター見学(2024.11.30)

- ・埼玉県防災学習センターを見学し、地震体験や消火体験を行いました。
- ・見学を通して感じたことについて意見交換を行い、大学間の交流を深めることができました。



DAME-iT 参加サークル募集中♪

- ・DAME-iTでは新たに参加していただけるサークルを積極的に募集していますので、「話を聞きたい」という方は県消防防災課までお問い合わせください！
- ・なお、DAME-iTの活動内容は、各SNSでも発信していますので要チェック！！



キミもつづけ!街の HERO 消防団

- ・消防団員は、自分の仕事を持しながら地域防災の担い手として、地域に密着し、住民の安全と安心を守るという重要な役割を果たしています。
- ・消防団の活動を通じて幅広い年代の人たちと交流でき、自分自身の成長にもつながります。
- ・「**地域の役に立ちたい、何かしてみたい**」という方は、消防団への入団を考えてみてはいかがでしょうか。



【お問い合わせ】

○とちぎ学生防災サークル支援事業について

栃木県危機管理防災局消防防災課
TEL 028-623-2127 FAX 2146
(公財)栃木県消防協会
TEL 028-666-5381

○消防団について

お住まいの市役所・町役場
または、消防署まで